

千葉県立国府台高校

千葉県立国府台高校生物部

高校生ボランティア・アワード2022

タフネビオトープで、 新しい「生物の住処」を

生物部は2013年から、より自然な状態で生息している生物を観察するため、タフネというセメントを練る容器を利用して作られた人工の生物の住処である、タフネビオトープを本校3階の屋外に造成し、現在も管理を続けています。タフネでビオトープを作った理由は、比較的低予算で造成でき、なおかつ生餌などを入れる必要がないため、管理が非常に簡単のためです。

そして今年度、本校1階の屋外に、新たなタフネビオトープを設置しました。その理由として、3階に設置したビオトープでは、飛ぶことができない野生動物がビオトープに来ることができないという点があります。そこで、1階の屋外に設置することで、飛ぶことが出来ない野生動物も、ビオトープに生息することが出来るようになると考えられます。実際に、一階のビオトープを設置した数日後、野生動物がビオトープに於いていったとされる木の葉のようなものが確認できました。また、3階のビオトープと、ビオトープ内に入れる植物を変えることによって、ビオトープに来る生物が変わるのか調査することもできると考えます。

昨今の世界情勢や都市開発から、私たちが普段の生活で野生の生物に触れる機会は減ってしまっています。そのようなときに、このタフネビオトープは、手軽に造成できるという点から、都市開発と生態環境の維持の両立にも非常に効果的だと考えられます。

私たち人間がほかの種と触れ合うことは、私たちがほかの種と生きていくうえで非常に需要です。我々も、ビオトープを活用した活動を通じて、我々と生物の共存について考えていきます。



高校生が、絶滅危惧種の 里親に

現在、当校では、個体数が減少し絶滅危惧種に指定されているトウキョウサンショウウオを、1年生が生物基礎の授業で、2人1組で1匹のサンショウウオの里親となり飼育するという保護活動を行っています。生物部では、産卵場所へ行って卵をいただいたり、卵から孵化する過程のサンショウウオのお世話などを行っています。

トウキョウサンショウウオは、千葉県の八日市場にある水田の水路に産卵します。しかし、水路が干上がってしまうと、卵が死んでしまう危険があります。そのため、干上がる可能性が高い水路にある卵をいただき、学校で生物部が卵を孵化させます。その後、孵化したサンショウウオは、生物基礎の時間に1年生に渡され、2人1組のペアが、餌のイトミミズをあげたり、水替えをしたりして大切に育てます。育てられたサンショウウオは、5月下旬ごろに産卵場所である水田の水路に返されます。

こうして保護してあげることにより、幼体の時期に天敵に食べられてしまったり、共食いによって死んでしまうサンショウウオを大幅に減らすことが出来ます。また、里親である生徒は、共同して生物を飼育する大変さや楽しさ、飼育しきったことによる達成感を体験することが出来ます。また、実際に絶滅危惧種の飼育をすることにより、他の絶滅危惧種への関心も高まると思われまます。

年々、トウキョウサンショウウオをはじめとした絶滅危惧種の保全への注目が高まっています。このような保全活動は、地域全体の活性化にもつながると考えています。私たち国府台高校生物部も、このような活動に積極的に参加し続けていきたいと思ひます。

地域の方々と協力し、生態環境を維持する

【イベント参加実績】

- ・NHK 未来スイッチ 未来へのアクション 「陸の豊かさを守ろう」 出演
- ・第73回児童生徒生物研究発表大会 表彰
- ・第6回ボランティアアワード 出場
- ・2021年度マリンチャレンジプログラム 参加
- ・令和元年度バードフェスティバル 優秀賞

【学校や地域での活動】

- ・トウキョウサンショウウオの保護、飼育活動
- ・ヒメマイトトンボの調査、保護活動
- ・タフネビオトープを利用した学校周辺の生態調査
- ・部活内で決めたグループによる実験、調査
例 校内の植生調査、粘菌の学習能力に関する実験など
- ・校内の一部の区画を借りて行う野菜の栽培



「我々と生物の共存のために」

私たち生物部は日々の活動の中で、トウキョウサンショウウオやヒメマイトトンボといった絶滅危惧種の保護活動を行っています。それらの活動を通して、私たちは「生物が生息している環境」に興味を持ちました。今後の活動の中では、絶滅危惧種の保護のために、生物を周りの環境との関係性に注目しながら調査を進めていきたいと思っています。

その具体的な方法として私たちは
学校内にビオトープを設置しました。

このビオトープの活動を通して、生物と環境の関係性を学び、それを絶滅危惧種の保護活動に活かしていきたいと思ひます。特に最近では世界中でSDGsを意識する動きが増えているため、私たち生物部が環境について考えて行くことはとても大切だと思ひます。さらに、今世界中で地球温暖化や砂漠化など様々な環境問題が起こっています。私たちの活動が少しでも問題解決につながってくると信じて私たちは活動に取り組んでいます。

これからの世界で我々と生物が共存していくためには、まずは生態環境の現状を知り、今後どのような行動をとれば環境の改善につながるのかを考えることが大切だと思ひます。「我々と生物の共存のために」今の私たちが出来ることを探し、これからの活動に取り組んでいきたいと思ひます。



活動団体プロフィール

国府台高校生物部は2012年に理科研究部として創設されたものが、部活動の主要活動が生物関連が多かったことから改称したことで生まれた部活動です。

現在では、ヒメマイトトンボ(絶滅危惧種)の調査から、トウキョウサンショウウオ保護活動の参加やヤゴを用いたビオトープなどを行っています。時には地域の方々と一緒に活動することもあり、貴重な機会をいただいています。

現在は1年生4人2年生10人での計14人で活動をしており、日々精進しています。